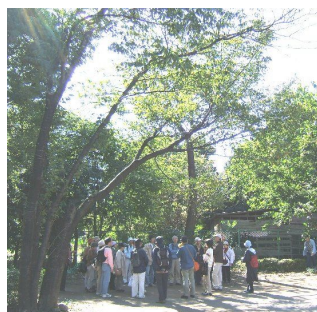


調布ヶ丘から佐須深大寺地区に残る調布の原風景を訪ねる

11.1sat by 調布市環境モニター

今回は定員 30 人一杯の申し込み者が調布北口駅に集合。好天に恵まれ気持ちの良い 1 日。

① 最初に訪れたのは**布多天神社**。多摩地区有数の古社で元々は多摩川近くの古天神にあったが、文明年間(1477)の洪水の時にこの地に遷座した。狛犬は市指定文化財。境内にあるケヤキ・クロマツ・アカマツ・シラカシなどの大木が大正寺の木々と併せた緑地となっており、例年アオバズクの子育てが見られる。



② 次は住宅街にある**布多公園**。5000m²の広さを持つ公園だが、「始めて知った」という方が多かった。昭和 51 年に開園するまでこのあたりには五十嵐牧場と大塚牧場があったそうで、隣接する屋敷林に囲まれた土地には牛舎らしき名残がある。公園整備のときに植えられたものだろうか、ユリノキ・エノキ・トチノキ・ナンキンハゼ・ヤマザクラなどの大木があり紅葉が期待される。

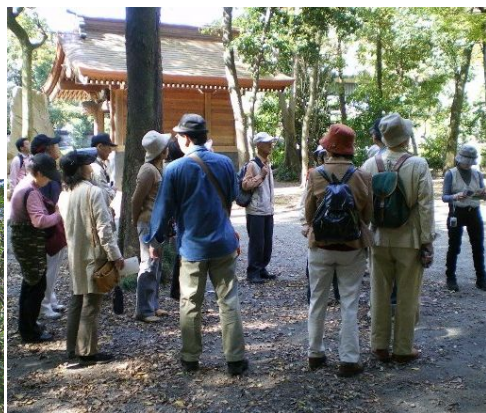
③ 大久保邸にある柿の木、**禅寺丸**を見学。推定樹齢 370 年の古木で幹周りは 2m 近い。王禅寺の等海上人が発見したと言われる柿で、江戸時代に多摩地区で盛んに栽培され、農家の現金収入となっていたもの。ここの母屋は明治 10 年の建築。

④ **虎狛神社**は崇峻天皇 2 年(589)創建と言われている。「江戸名所図会」にも記載され都の天然記念物だったクロマツは昭和 37 年の落雷後、病虫害で伐採されてしまった。それでも残っている



クロマツ・イヌシデ・シイノキはかなりの大木で、6 月頃には木全体に綿を被せたようなヤマボウシの花が遠くからでも良く見える。

⑤ 最後は**水車館と逆川源流**へ。国分寺崖線からの湧き水が佐須用水へと流れ出ようすを見学して解散。



調布の自然

虫

編 ハナアブ

暦の上では、すっかり冬のはずなのですが、不思議と実感がわかない日が続いています。これも、温暖化の影響なのかなと思いながら、自然に目を向けると、晴れた日にはほかほか陽気にひなたぼっこをしている昆虫が、まだまだ見受けられます。

「冬の虫」というと、メジャーなものでは「ユキムシ」とよばれるセッケイカワゲラや、「冬尺」という冬場に限って成虫が出現する蛾の仲間があげられます。

一方、冬の虫としては、上の虫ほどは知名度が有りませんが、成虫で越冬する昆虫は意外に結構多く、キタテハやムラサキシジミ等の蝶の仲間や、オツネントンボ等のトンボなどがこれに入ります。



今回紹介する「ハナアブ」の仲間も、成虫で越冬する昆虫類の一群です。この仲間は漢字では「花虻」と書きますが、その名の通り、主に日当たりの良い草原や林縁部に生息し、成虫は花の蜜を吸いに各種の花を訪れます。一見、ミツバチ等のハチ類に似ていますが、翅が 2 枚しかなく、また、針を持たないため、人を刺すことはありません。

逆に、花にとって見ると、花粉を媒介する重要な役割を担っており、ある意味なくてはならないパートナーの一つともいえます。

機会があれば、ぜひ一度、近くでゆっくり眺めてみてはいかがでしょうか？
(石川和宏)

◆田んぼの学校

～いよいよ脱穀～

11/12に脱穀、粃摺りを行いました。参加者は20名ほどです。脱穀で稲藁から取った稲の実を「粃」と言います。粃から粃殻を取って玄米にする事を粃摺り（もみすり）と言います。

11/16 精米です。玄米から胚芽米や白米にする事です。餅米は全部白米にします。今年の収穫はここ数年で一番の豊作のようです。

～いよいよ収穫祭～

11/23 今は勤労感謝の日と言われて居りますが昔は「新嘗祭」と言って古事記にも記されている古い行事で、新穀を神様にお供えをして感謝する日です。当会では収穫をもたらして下さった全ての物に感謝の気持ちを表すため収穫祭を行います。

参加者は大人35名、子供35名と大勢です。とりたての米で搗きたての餅を思い思いの具につけて頂くのです。その他盛りだくさんの食べ物、飲み物に囲まれて青空のもと日頃の雑念から解放され大人同士子供同士、心行くまで楽しみました。（佐々木）



◆若葉の森の会

始めまして。平成20年3月から始まった若葉町3丁目第3緑地の保全活動も早くも8ヶ月。会員の方も少しずつですが増えてきました。

11/9 頼もしい新会員3名も加わり、緑と公園課職員も含め総勢7名で、笹刈り、つた切り、シュロ取りに汗を流しました。そのかいもあり、緑地の下の入口付近は、見違えるようにきれいになりました。



大坂と呼ばれる古い坂道に面しているためなのでしょう、生い茂った笹やぶの中に多くのゴミが捨てられていて、閉口しました（閉口はしましたが「ゴミは持ち帰れ」と口は開きます）。

その昔、古道を行き交う人々を見守ってきた第3緑地です。みんなで大切にしていきたいものですね。（住田）

活動記録コーナー

自然だよりの発行の中断により10月・11月の活動をまとめて掲載しています

<会メンバーの感想>

- ・時間内での移動が難しかったが講座では待ち時間があった。
- ・小池先生の話が参考になった。
- ・最初の班は戸惑いがあったが、2日目からはスムーズにできた。
- ・雨で滑りやすいため、作業道具を渡す場所に一考の余地あり。
- ・とても良い場所なので、神代農場から田んぼまで通してやりたい。

活動終了後、有志により2月に行う「虫の冬越し観察会」の準備を行った。（こも巻き4ヶ所、倒木・落枝の集材2ヶ所。）（活動報告より）



◆11/8のカニ山の会は雨天のため中止。

◆カニ山の会

10/11（土）小雨 参加者10名

○雑木林塾講座 受け入れ

市主催の雑木林塾、第1回の講座を受け入れ。受講生は19名。

参加者を3班に分け、A雑木林全体について、Bカニ山の会の活動について、C体験活動の3講座を順次受講できるような構成で行いました。

<参加者からの感想>

- ・調布にこんな緑が深いところがあるとは知らなかった。
- ・30年前に比べて、良く整備されている。
- ・近くに住んでいても、市民活動により雑木林の手入れがされていることを知らない。
- ・カニ山の歴史を知って、ショックを感じた。
- ・雨天時の実施、中止の連絡がつかなかった。
- ・荷物等の保管場所が欲しい。

◆人間・樹林の会

10月、方形枠調査を実施。例年11月に見られるキチジョウソウの花が咲いていました。他にセイタカアワダチソウ、ミズヒキ、ヤブタバコ、ツユクサ、ベニバナボロギク、ハナタデ、ナキリスゲが咲いていました。去年よりもジョロウグモの巣があちこちに目につきました。3人が写真撮影に挑戦しましたが、難しく諦めました。作業は緑と公園課からチップをもらったので遊歩道の一部に撒きました。11月にみると大雨も降らなかったもので流されずに定着していました。

11月は小雨ふる中、ここ2～3ヶ月多くなったごみ拾いをしました。2ヶ月ぶりに樹林地内を歩くと20cmほどある幹回りの倒木でフェンスが壊れていました。台風や嵐もなかったのに不思議です。少ない人数・短時間でも、民家との境界の笹刈りをする視界が広がりすっきりとしました。

多摩川今昔④

〇おおだまり（大溜まり）

「大溜まり」こんな呼び名を知る人は、調布育ちの人でもかなりの年齢に達した人だ。多摩川低湿地を流れる府中用水は、現在は暗渠や三面舗装され、魚群を見ることがないが、湧水も多く、多摩川本流にはない楽しみがあった。

現在の京王フローラルガーデン、（京王百花園）には大きな湧水池が残されており、その昔は湧水を利用して市内唯一プールがあった場所だ。

府中用水が多摩川に合流すると桜堤通りと多摩川堤（新堤）の間、現在の市民プールや野球場のあたりは、大きな水溜まりになっており、本流に行くには少し上流の白山通り突き当たりあたりの川幅の狭い場所を渡らねばならなかった。

大溜まりの周囲はヨシやガマ、マコモ等の背丈の高い草で被われ、草むらからはウシガエルの不気味な鳴き声が聞こえ、夕時などは子供心には気持ちが悪く、さらに上流の保健所通りを帰ってきた。この大溜の魅力は当時本流ではめったに見られない生き物に出会えることだ。

その一つがアメリカザリガニで、1927年ウシガエルの餌として神奈川県に導入され、現在では筆抜けしたものが爆発的な繁殖力で全国に分布を拡げたが 1950 年頃は珍しく、それを探しに粕江のほうまで出かけ、暗くなくても戻らず親たちに心配させたほか、ダルマガエルを釣り針に付け雷魚（カムルチー）釣りをしたのもこの場所だ。（戸部英貞）

☆☆今年も多摩川でアレチウリ調査☆☆

11/7 今回で3年目になる「多摩川市民による外来植生調査」を河川生態市民モニタリング研究会の辻野さんと環境モニター有志の3人で行いました。

外来種、特にはびこっていたアレチウリを中心に繁茂状況を調査し、現状を知った上で駆除方策の参考にしようというもの。今回は昨年夏の終わりに起きた洪水後の群落変化とアレチウリ以外にもクズの繁茂状況を知ること重点がおかれしました。初年度と比べ、洪水の影響かアレチウリはかなり減ったようです。

調布市内の多摩川 4.8km を半日かけて調査票にそいながら記入をしていきます。アレチウリの群落では土壌の硬度をはかったり、GPSで株数をチェックしたり…。3年目ともなるとややモチベーションも下がり気味ですが、こういった調査は長年の積み重ねの記録が大切。来年以降は是非新しい方に加わっていただきたいと思います。（モニター 鍛冶）



鶯の地鳴きを確認しました。花は、ヤブタバコ、ハナタデと少なく、マンリョウ、ヨウシュヤマゴボウ、ヤブミョウガの実がなっていました。マテバシイのどんぐりを拾い、12月のお楽しみ会でクッキー・ケーキの材料にして味わいます。（安部記）



クサギ
赤いガクと
青紫の実が
美しい

倒木がフェンス
を倒す



◆環境モニター

10/4（土）晴れ 参加者8人

小澤講師とともに多摩川ワンド周辺の植物調べをしました。今年度入会した参加者がほとんどいないのが、少し寂しく感じられました。秋はイネ科やカタクリグサ科の植物が多く、初心者にはなじみにくいようです。

それでも同定の合間に「ヤハズソウと比べ、マルバヤハズソウは砂礫地に多い」とか「チカラシバに比べアオチカラシバは西日本に多い」「アキメヒシバは貧栄養な湿地に多い」などの植生の話を聞きながら楽しく観察することができました。また絶滅危惧Ⅱ類のカンエンガヤツリを見ることができました。

（鍛冶）

※11月は「そぞろ歩き」でした。

（1面参照）



比較的めずらしいカンエンガヤツリ

☆ 市民エコ活動カレンダー & おしらせ ☆

★★★ 全ての会でメンバー随時募集中! ★★★

◆カニ山の会

12/13 (土) 10:00~12:00

集合場所: 野草園横

内容: 枝きり その他

※ 原則毎月第2土曜に東樹林の保全活動を行っています。参加希望の方は直接集合場所へおいで下さい。(年会費500円+保険料)

問合せ 環境政策課

042-481-7086 まで

◆入間・樹林の会

12/21 (日) 9:30~12:00

集合場所: 入間地域福祉センター

内容: お楽しみ会

※ 原則毎月第3日曜に活動しています。参加希望の方は直接入間地域福祉センターへおいで下さい。

問合せ 環境政策課又は緑と公園課

◆若葉の森の会

12/14 (日) 10:00~12:00

集合場所: 入間地域福祉センター

内容: 樹林の保全活動

※ 原則毎月第2日曜に若葉町第3緑地で保全活動を行っています。参加希望の方は直接入間地域福祉センターへおいで下さい。

問合せ 緑と公園課

042-481-7083 まで

◆環境モニター

12/6 (土) 9:30~12:00

集合場所: 青渭神社前

内容: 水生植物園及び深大寺城址の植物観察

問合せ 環境政策課

042-481-7086 まで

冬のあいだ、虫たちはどうしているのでしょうか。

みんな卵で春を待っている？

そんなことはありません。寒くない所に隠れている虫や寒さに負けないで活動している虫もいます。カニ山の会では、深大寺自然広場(通称カニ山)の一部についてボランティアで維持活動を行っています。平成21年2月は、冬の虫の暮らしについて勉強します。ぜひ一緒に冬の虫を探しましょう!

△△△ 冬の虫はどうしてる? 春を待つ虫の観察会 △△△

日時 平成21年2月14日 10時~12時

場所 深大寺自然広場(通称 カニ山)

講師 石川和宏さん(TVチャンピオン決勝出場)

募集 小学生と保護者10組

(小学校4年生以上は児童だけの参加も可)

参加費 1人 200円

持ち物 虫を観察するための蓋付きの透明容器3個

(空きビンやプチトマトが入っているプラスチックの透明の容器など)

申込方法 以下の事項を記入し1月31日までにメールでお申し込み下さい

- ① 氏名
- ② 年齢
- ③ 住所
- ④ 電話番号

申込宛先メール: k2-kojima@khc.biglobe.ne.jp

主催: カニ山の会(担当: 小島)

第7回

ちょうふ環境市民会議(準)

日時: 1/15(木)

18:30~20:30

場所: たづくり 302 会議室

会議内容: 各部会による提案

3月15日交流イベントについて等

☆参加メンバー募集中!

環境活動に感心のある団体・個人

【連絡事務局】

調布市環境政策課(小松)

問合せ 042-481-7086

ちょうふの自然だよりの置き場所

- ・あくろす市民活動支援センター(国領) 2F、3F (各20部)
- ・たづくり 11F 情報コーナー(15部)
- ・中央図書館(たづくり4F) (30部)
- ・地域センター(入間・染地・富士見町) (各20部)
- ・NPOてらのサウルス国領店(10部)
- ・野菜食堂みさとや(布田) (10部)

※「自然だより」を置いて下さる、ひとところを探しています。ご紹介下さい。

市民発 ちょうふの自然だより

◆編集後記◆ 先月号 vol.91 から市民力だけで印刷・配付をすることになった「自然だより」。この92号で現実の活動に追いついたので、次号からは少しゆったり紙面になるはず。デジタル版が市ホームページに掲載されなくなったので、PDF版を無料webページに掲載してみました。フリー閲覧に課題有ります。助っ人來たれ!(江刺)

12月の声を聞き、やっと紅葉がきれいになってきたようだ。甲州街道にある職場ではケヤキの落ち葉掃きが大変だが、「夏の間ありがとう」と言いたい。環境モニターで年に2回ほど「そぞろ歩き」をしていると「えっ、あそこにあったあの木切られてしまったの!」ということがある。色々理由はあるだろうけれど、ホントに寂しい。(鍛冶)

発行: ちょうふ環境市民会議(準)

連絡先: <http://ameblo.jp/kankyo-simin/> からどうぞ

このニュースレターは 環境と未来を考える会の協力で発行しています